



五福っ子



令和7年10月23日発行 No.15

がんばるよ 計算の神様

学校だよりの第10号で、学習を充実させるための取組を2つご紹介しました。『すなおな聞き方あいうえお』と「ノートチャレンジ」です。この号では、10月から本格的に始まった「計算の神様」の取組を紹介します。

朝学習の時間を使って、足し算や引き算、九九など、学習した計算が身についていることを確かめたり、分からぬいところを教え合ったりする取組です。1年生は6年生に、2年生は4年生に、3年生は5年生に聞いてもらいます。

2年生と4年生の様子を見に行くと、教室のスペースのあちこちに散らばっている2年生と4年生の姿がありました。2年生は、読み上げる計算のプリントと、上の写真のような合格バッジを集めるカードをもっていました。

2年生は、10種類の問題のうち、自分が挑戦しようと思う問題を選んで、計算します。それを声に出して言うのを、4年生が聞きます。正しく計算できていたら、「うん。」「合ってるよ。」など

と励ましたり、うんうんと、うなずきながら聞いたりしています。全部の問題を正しく言い終わると、合格バッジの欄に、4年生が赤丸を付けます。

2年生に、「計算の神様、楽しい？」と尋ねると、なんと全員「うん！」と返事を

しました。さらに「何が楽しいの？」と尋ねると、「足し算」「聞いてもらえること」「計算」「言った後に花丸がもらえる」「へのへのもへじとか、描いてくれるのがうれしい」との返事。4年生が工夫して、計算ができた喜びを大きくしてくれていることが伝わってきました。最後に「私、引き算好き」と、恥ずかしそうに教えてくれた笑顔から、学びの楽しさや喜びを感じました。

